

## 平成21年度第8回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

- [日 時] 平成21年 11月10日(火) 15:00~17:30
- [場 所] 琉球大学医学部臨床研究棟 大学院大セミナー室
- [参加者] 7名: 上江洲富夫(沖縄県骨髄バンクを支援する会代表)、  
仲宗根民男(沖縄県健康増進課成人保健班)、  
蔵根 瑞枝(沖縄県健康増進課成人保健班)、高橋 慶行(県立中部病院)、  
上原忠司(那覇市立病院外科)、幸地 周(北部地区医師会)、  
増田 昌人(琉大病院がんセンター)、
- [欠席者] 2名: 長井 裕(琉大病院産婦人科)、  
渡嘉敷通之(沖縄県保健体育課課長)
- [陪席者] 4名: 嘉陽俊和(AIG スター)、大浜博文(ソニー生命)  
城間駒生(琉大病院がんセンター)、吉田裕子(患者)

議題に先立ち、第7回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

### [報告内容]

1. 資料2に基づき、高橋委員より宮古島で開催された「女性の健康講座」についての報告がなされた。今回のテーマは「知っておこう! 子宮がんと検診のはなし」と題して講演され、参加した市民の方に子宮がんにおける早期発見の必要性について説明した旨が報告された。
2. リレーフォーライフ第3回実行委員会での打ち合わせについて  
上江洲委員より、10月31日(日)に開かれた、リレーフォーライフ第3回実行委員会についての報告があった。内容については、現段階ではまだ協議中で、今後決定事項などあった場合、報告するとの説明がなされた。
3. 乳がん・子宮頸がん無料検診クーポンについて  
資料3に基づき、蔵根委員代理より乳がんと子宮がん検診無料クーポン券についての説明がなされた。対象者は平成20年4月2日~平成21年4月1日までの間で、(乳がん: 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった女性)(子宮頸がん: 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった女性)で、市町村が実施主体となり、全国一律の基準で実施されている。沖縄県では10月末までに対象者にクーポン券等が郵送されており、既に検診済みの方には自己負担分額を償還されることが報告された。  
また、吉田委員より、個人でがん検診の予約をしても受診するまでに3カ月待ちの場合もあり、効率良く可動していないと感じることから、集団化や、団体で受診するなど、より多くの方が検診できるようなシステムにできないかとの意見が挙げられた。

#### 4. その他

前回の部会にて挙げられたフリーマガジン（無料情報雑誌）へ早期がん検診について啓蒙できる広告や記事を発表してみようかとの意見をもとに、各発行事業所に問い合わせた所、増田委員より「女性ビューティーマガジン be-o,」「クーポンマガジン chura+」「観光クーポンマガジン TABINCHU」の3部が紹介され、今後医療関係の特集があれば掲載してほしいと依頼した事が報告された。

#### [報告内容]

##### 1. 北部地区医師会北部看護学校講演会、講演担当者について

12月11日（金）に開催される北部看護学校の講演会には県立中部病院の高橋委員もしくは同病院 産婦人科の三浦耕子先生が担当する事が承認された。

##### 2. 今年度取り組み事業についての中間評価

資料5に基づき、幸地副部長より、今年度取り組み事業を振り返り、各項目ごとに現時点までの中間評価（10点満点）がなされた。結果は以下の通りとなった。

- ① 一般向け講演会の開催・・・7点（まだ未実施の講演会もあるため）
- ② 講演会録画のライブラリー化・・・未評価
- ③ がん種毎の担当医一覧の作成とホームページへの掲載・・・9点
- ④ 情報提供の地域格差の是正・・・8.5点（八重山地域での講演会が未実施のため）
- ⑤ 養護教員向けの講演会の開催・・・未評価
- ⑥ リレーフォーライフの開催・・・1点（現在、実行員によって、実施にむけて準備をすすめている）
- ⑦ がん関連DVDの視聴場所確保、機器の設置・・・9点
- ⑧ がん検診キャンペーンの具体化・・・1点（来年度のテーマは大腸がんと決定しているが、現段階では特に具体化されていないため）
- ⑨ 情報提供手段の構築・・・8点（牛乳パックへの無料広告は掲載済みであるが、まだ情報提供不足であると判断したため）
- ⑩ 協議会ホームページの内容充実・・・3点（今後、患者向けHPとして再度、掲載表示方法を変更しよう協議中であるため）
- ⑪ 各協議会との情報提供および交換・・・未評価（年度内に実施する予定ではあるが、未実施のため）

3. 協議会ホームページ内容と構築の充実について

資料6に基づき、沖縄県がん診療連携協議会のホームページの表示方法について、上原委員より、患者専用と医療関係者用の入り口を分けて掲載してはどうかとの提案があり、配色選びやデザインを簡素化するなど、今後はメーリングリストを活用して意見を収集し、部会にて再度検討することが承認された。

4. 次年度、大腸がんのキャンペーンをするにあたって

資料7に基づき、幸地副部長より次年度のテーマを「大腸がん」ではどうかとの提案があった。理由として、沖縄県では大腸がんの発症率が高く、メタボリック症候群との合併症も多い。また人間ドック受診者は多いものの、精査率が低いことや、早期がんであれば、内視鏡切除で済む可能性が高いため、早期発見の啓発・啓蒙をする必要があることが挙げられ、全会一致で承認された。

5. 離島圏（石垣島）での一般向け講演会について

蔵根代理より、離島圏での講演会日程については、2月6日（土）に開催する事が報告された。また、講演者としては琉大病院産婦人科より選定されることが承認された。また、（患者立場）吉田より離島圏でリンパ浮腫の講演会をやってほしいとの意見が挙げられた。

6. 離島圏での講演会について

増田委員より、2月と5月に予定している、離島圏での緩和ケア研修会の日程に合わせて、普及啓発部会より立案・企画し講演会（テーマ未）を開催してはどうかとの提案があった。詳細に関しては、緩和ケア部会と調整し、次回再度検討することが承認された。

7. その他

仲宗根委員より、今後更に啓発の仕方を変えていかなければうまく啓発できない、そのため企業での職場検診の中にがん検診を受けやすくする仕組みをつくることによって受診率向上に繋がるのではとの意見が挙げられた。

次回の部会開催日程について・・・12月1日（火）15：00～管理棟2階小会議室にて開催されることが承認された。